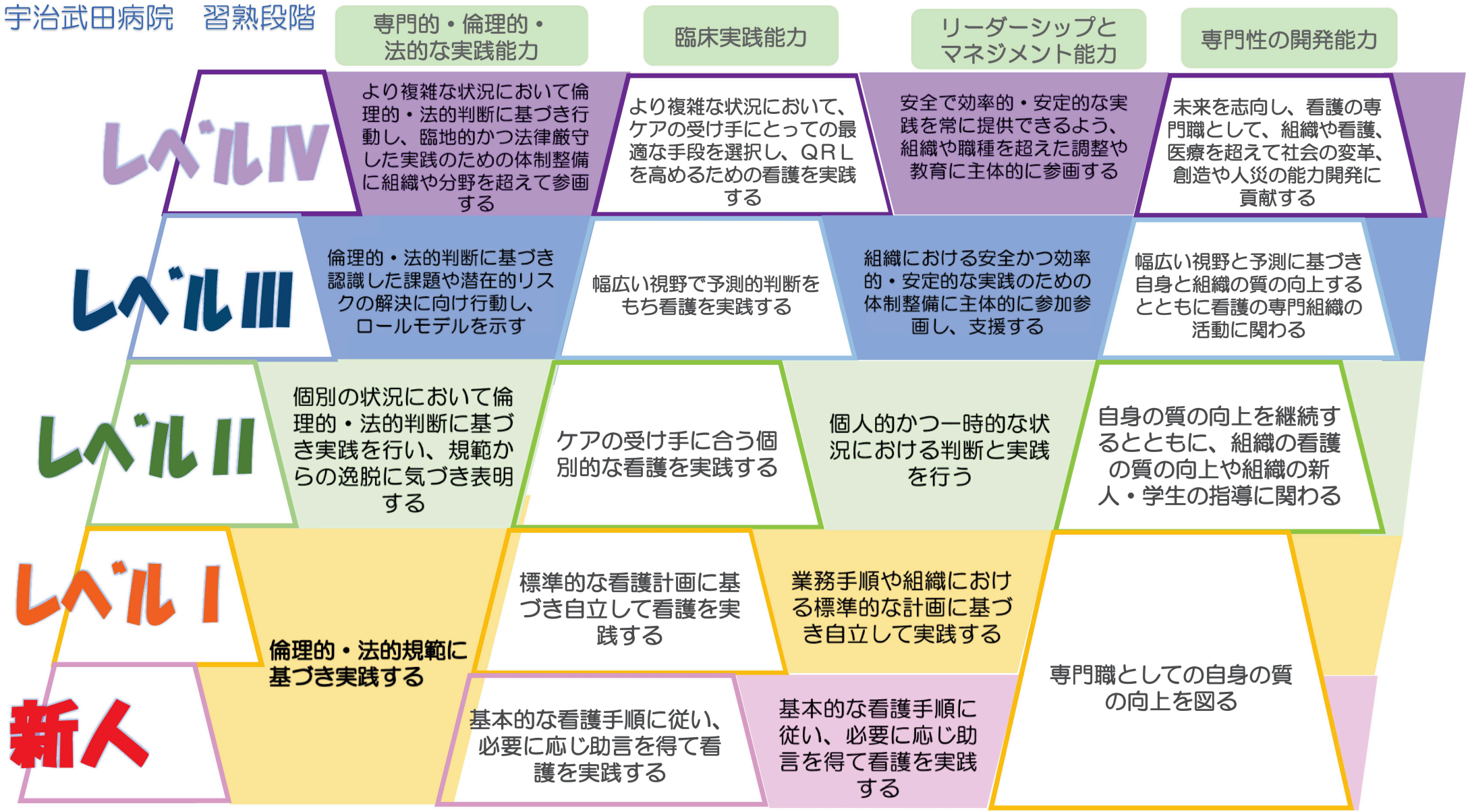

宇治武田病院　習熟段階
専門的・倫理的・法的な実践能力
臨床実践能力
リーダーシップとマネジメント能力
専門性の開発能力
レベルⅣ
より複雑な状況において倫理的・法的判断に基づき行動し、臨地的かつ法律厳守した実践のための体制整備に組織や分野を超えて参画する
より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QRLを高めるための看護を実践する
安全で効率的・安定的な実践を常に提供できるよう、組織や職種を超えた調整や教育に主体的に参画する
未来を志向し、看護の専門職として、組織や看護、医療を超えて社会の変革、創造や人災の能力開発に貢献する
レベルⅢ
倫理的・法的判断に基づき認識した課題や潜在的リスクの解決に向け行動し、ロールモデルを示す
幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
組織における安全かつ効率的・安定的な実践のための体制整備に主体的に参加参画し、支援する
幅広い視野と予測に基づき自身と組織の質の向上するとともに看護の専門組織の活動に関わる
レベルⅡ
個別の状況において倫理的・法的判断に基づき実践を行い、規範からの逸脱に気づき表明する
ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
個人的かつ一時的な状況における判断と実践を行う
自身の質の向上を継続するとともに、組織の看護の質の向上や組織の新人・学生の指導に関わる
レベルⅠ
倫理的・法的規範に基づき実践する
標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
業務手順や組織における標準的な計画に基づき自立して実践する
専門職としての自身の質の向上を図る
新人
基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する
基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する